

令和6年度

事業報告及び収支決算書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

公益財団法人善通寺市農地管理公社

令和6年度事業報告及び収支決算書

【事業報告】

I 事業概況

令和6年度における本市の農業情勢は、コメや野菜の価格高騰が続きましたが、販売農家が半数を割っており、野菜も天候不順により収穫量が減少もしたこともあり農家の収入増には直接反映されない状況となりました。また、全国的には、コメ不足による米価の高騰で「令和の米騒動」が発生する等久しぶりに農業の重要性が見直される結果となりましたが、輸入米の急増や米離れが懸念されています。

こうした状況下にあって、当公社は、善通寺市、JA香川県、香川県等の支援を受け、事業計画に沿って、「農地の荒廃防止及び有効利用並びに農業の担い手確保・育成・発展を図る事業」に取り組みました。各事業の概況については以下のとおりです。

(1) 農地利用集積円滑化に関する事業

事業は、「農地中間管理事業の推進に関する法律」の改正に伴い、令和2年度から(公財)香川県農地機構に統合され、当公社は保有契約の管理業務を実施しました。

(2) 農作業等の受委託の調整に関する事業

担い手のいない農地の所有者から委託を受け、保全管理作業を実施しました。受託戸数、受託面積及び作業延べ面積全てにおいて計画を大幅に上回りましたが、その主な要因は、期中における新規契約の増加によるものでした。

(3) 農業後継者及び新規就農者の育成に関する事業

農業後継者等を対象に「ゆめ楽農支援塾」を開催し、募集人員を上回る34名の参加を得て、1年間に亘り野菜栽培技術や出荷方法等を指導しました。

また、新規就農を目指す4期生の募集を善通寺市と共同で実施し、北海道出身の若者を採用内定したうえで、次年度からの育成に向けた準備活動を行いました。

(4) 地域の特産品となる特産物の開発、普及及び啓発に関する事業

ダイシモチ麦の普及拡大による地域ブランドの向上に、積極的に取り組みました。生産面では、生産者部会員に令和6年産の作付けを12ha委託し、約42トン収穫しました。一方、販売面では、(株)まんでがんを中心とした普及協議会会員が、販売活動に注力し新規開拓や新商品開発等に努めた結果、販売量は昨年度に続き、前年比20トン増の140トンとなり過去最高を更新しました。

II 事業実績

1. 農地の荒廃防止及び有効利用並びに農業の担い手確保・育成・発展を図る事業
各事業実績は次の内容のとおりです。

(1) 農地利用集積円滑化に関する事業

①農地所有者代理事業

事業は、「農地中間管理事業の推進に関する法律」の改正に伴い令和2年度から廃止となり、(公財)香川県農地機構に統合されました。なお、当社は同機構と窓口対応も含めて連携し、引き続き農地の流動化に努めました。

②農地売買等事業

この事業も上記①と同様、(公財)香川県農地機構へ統合されましたが、経過措置として、保有契約の管理業務を継続して実施しました。保有契約は2.3haを借り受け、内2.2haを貸し付けています。

なお、0.1haは後継者育成事業の実習田として使用しています。

借り受け		貸し付け	
件数(件)	面積(ha)	件数(件)	面積(ha)
8	2.3	7	2.2

(2) 農作業等の受委託の調整に関する事業

①農作業等の受委託事業

保全管理作業は、期中での新規契約が大幅に増加したことから、受託戸数、受託面積及び作業延べ面積全てにおいて計画を上回りました。

また、畦畔草刈作業は、戸数、受託畦長及び作業延べ畔長で、それぞれ計画対比155%、119%、120%となり、全てにおいて計画を上回りました。

(保全管理作業)

受託戸数(戸)			受託面積(ha)			作業延べ面積(ha)		
計画	実績	対比	計画	実績	対比	計画	実績	対比
60	92	153%	12	14.9	124%	30	33.2	110%

(畦畔草刈作業)

受託戸数(戸)			受託畦長(m)			作業延べ畦長(m)		
計画	実績	対比	計画	実績	対比	計画	実績	対比
20	31	155%	2,000	2,386	119%	4,000	4,795	120%

②農作業用機械貸出事業

農業者の経営の合理化や便宜を図るため、作業の閑散期等に当社が保有している農作業用機械の荒廃草処理機を8件貸出しました。

③事業の啓発

事業の啓発用チラシを作成の上、市内の全農家へ配布し周知を図りました。

(3) 農業後継者及び新規就農者の育成に関する事業

①農業後継者育成事業

農業後継者育成の一環として、農業塾「ゆめ楽農支援塾」を開催し、受講生に野菜の栽培技術および出荷方法を指導し、併せて就農への意欲喚起を図りました。

- ・受講人数 34名（男性14名・女性20名）
- ・開催期間 令和6年4月～令和7年3月
- ・開催回数 基礎講座 12回（平日夜間での座学）
実践講座 17回（土日祝に実習田での実習）
- ・栽培作物 玉葱、じゃがいも、レタス、キャベツ、人参、黒大豆、その他
- ・講師 牛田均氏（香川県農業試験場OB）
- ・協力団体 香川県中讃農業改良普及センター、JA香川県他
- ・受講生出席状況

	基礎講座	実践講座
回数	12回	18回
延べ人数	243名	305名
平均人数	20名	18名

②新規就農者育成事業

善通寺市の新規就農者育成事業は、既に、3期生までの研修が平成29年度で終了し6名の若者が移住し新規就農しました。善通寺市では、その成果を踏まえ4期生の採用に向け募集活動に取り組んできました。令和6年度においては、当公社も善通寺市と共同し、東京及び大阪における農業人フェアに参加するとともに、ホームページでの募集等を行った結果、北海道出身の32歳の若者から応募があり、選考の結果4期生として内定しました。当公社は、善通寺市から委託を受け、7年度からの採用と育成に向けた事前準備を実施しました。

(4) 地域の特産品となる特産物の開発、普及及び啓発に関する事業

平成24年度から当公社が事業の中核として実施してきた「讃岐もち麦ダイシモチ」の特産品化事業は、10年以上経過し一定の成果を見ることができました。今後、事業の更なる伸展を目指し事業体制の見直しの検討が必要となってきました。

生産面では、令和6年産について、生産者部会員に12haの作付けを委託しましたが、天候不順のため42トン収穫となりました。なお、令和7年産については、在庫調整も完了したことから同部会員に41haの作付けを委託しました。

一方、販売面では、(株)まんでがんを中心とした普及協議会会員が一体となり、展示商談会への出展や営業活動等を強化し新規取引業者の開拓や、新商品の開発が推進されました。さらに、ふるさと納税の大幅な増加を含めネット販売も好調で、販売チャンネルも拡大し、販売量は、前年度に比べ20トン増の140トンとなり、過去最高を更新しました。なお、粉の販売量は、粉を活用した麺類、パンや菓子などの品数は増加しましたが、1トンにとどまりました。

生産委託先	生産者部会員
作付け・収穫量	令和6年産：12ha（約42トン収穫） 令和7年産：41ha（約165トン収穫を見込む）
販売量	丸麦：約140トン、粉：約1トン
加工先	丸麦：高畑精麦、粉：西上精米所
利用内容	丸麦：一般消費者、給食、食堂、レストラン、社員食堂 焼酎、カレー、コロッケ等 粉：焼酎、うどん、そうめん、中華麺、そば、ピザ、パン、饅頭、菓子・クッキー等

【収支決算】

貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	8,681,286	9,051,864	△ 370,578
未収金	893,104	1,042,611	△ 149,507
前払費用	244,140	0	244,140
流動資産合計	9,818,530	10,094,475	△ 275,945
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2)特定資産			
車輛運搬具購入引当資産	2,300,000	1,800,000	500,000
農機購入引当資産	10,500,000	9,500,000	1,000,000
特定資産合計	12,800,000	11,300,000	1,500,000
(3)その他の固定資産			
車輛運搬具	2,148,735	2,148,735	0
車輛運搬具減価償却累計額	△ 1,743,997	△ 1,440,445	△ 303,552
農林業用資産	8,904,782	9,270,182	△ 365,400
農林業用資産減価償却累計額	△ 6,934,747	△ 6,609,095	△ 325,652
ソフトウェア	756,000	756,000	0
ソフトウェア減価償却累計額	△ 756,000	△ 756,000	0
その他の固定資産合計	2,374,773	3,369,377	△ 994,604
固定資産合計	45,174,773	44,669,377	505,396
資産の部合計	54,993,303	54,763,852	229,451
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	378,294	△ 378,294
預り金	0	19,182	△ 19,182
未払法人税等	0	0	0
流動負債合計	0	397,476	△ 397,476
2. 固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債の部合計	0	397,476	△ 397,476
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	54,993,303	54,366,376	626,927
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,800,000)	(11,300,000)	(1,500,000)
正味財産合計	54,993,303	54,366,376	626,927
負債及び正味財産合計	54,993,303	54,763,852	229,451

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	(8,400)	(1,504)	(6,896)
基本財産受取利息	8,400	1,504	6,896
事業収益	(25,373,832)	(30,532,569)	(△5,158,737)
農産物販売料	21,193,395	23,391,582	△2,198,187
用地賃貸料	129,317	141,780	△12,463
負担金	136,000	140,000	△4,000
受託料	0	2,665,057	△2,665,057
保全管理作業料	3,589,580	3,779,880	△190,300
畦畔草刈作業料	290,240	376,020	△85,780
農業用機械貸出料	35,300	38,250	△2,950
受取補助金等	(1,150,000)	(1,150,000)	(0)
受取地方公共団体補助金	950,000	950,000	0
受取民間補助金	200,000	200,000	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0
雑収益	(12,964)	(482,009)	(△469,045)
受取利息	7,194	273	6,921
雑収益	5,770	481,736	△475,966
経常収益計	26,545,196	32,166,082	△ 5,620,886
(2) 経常費用			
事業費	(25,465,224)	(29,779,730)	(△4,314,506)
給与手当	0	1,485,000	△1,485,000
臨時雇賃金	3,000	3,600	△600
福利厚生費	7,790	316,349	△308,559
会議費	58,476	57,226	1,250
旅費交通費	278,950	114,605	164,345
通信運搬費	74,436	64,098	10,338
減価償却費	994,603	1,539,682	△545,079
消耗品費	1,055,400	1,216,928	△161,528
修繕費	320,257	225,020	95,237
燃料費	366,493	337,634	28,859
賃借料	0	512,075	△512,075
保険料	144,115	122,586	21,529
諸謝金	126,000	126,000	0
租税公課	127,700	0	127,700
利用料	950,204	1,851,797	△901,593
用地賃借料	129,317	141,780	△12,463
支払手数料	27,813	14,205	13,608
委託費	20,734,525	21,639,235	△904,710
雑費	66,145	11,910	54,235
管理費	(453,044)	(427,799)	(25,245)
役員報酬	43,281	27,621	15,660
会議費	14,720	12,150	2,570
旅費交通費	0	0	0

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
通信運搬費	67,301	65,980	1,321
減価償却費	0	0	0
消耗品費	19,800	13,298	6,502
修繕費	0	0	0
燃料費	0	0	0
賃借料	0	0	0
租税公課	11,800	1,600	10,200
支払手数料	0	2,750	△2,750
委託費	296,142	299,400	△3,258
雑費	0	5,000	△5,000
経常費用計	25,918,268	30,207,529	△4,289,261
評価損益等調整前当期経常増減額	626,928	1,958,553	△1,331,625
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	626,928	1,958,553	△1,331,625
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	(0)	(0)	(0)
車輜運搬具売却益	0	0	0
農林業用資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	(0)	(0)	(0)
車輜運搬具売却損	0	0	0
農林業用資産売却損	0	0	0
固定資産除却損	(1)	(0)	(1)
車輜運搬具除却損	0	0	0
農林業用資産除却損	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	△1	0	△1
当期一般正味財産増減額	626,927	1,958,553	△1,331,626
一般正味財産期首残高	54,366,376	52,407,823	1,958,553
一般正味財産期末残高	54,993,303	54,366,376	626,927
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	(0)	(0)	(0)
受取民間補助金	0	0	0
一般正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,993,303	54,366,376	626,927

正味財産増減計算書(内訳表)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	その他	内部取引消去	合 計
	農地の荒廃防止及び有効利用並びに 農業の担い手確保・育成・発展を図る事業	共 通	公益目的事業 小計	収 益 事 業	収 益 共 通	収益事業小計		全 共 通		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8,400)	(0)	(0)	(8,400)
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	8,400	0	0	8,400
事業収益	(25,373,832)	(0)	(25,373,832)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(25,373,832)
農産物販売料	21,193,395	0	21,193,395	0	0	0	0	0	0	21,193,395
用地賃貸料	129,317	0	129,317	0	0	0	0	0	0	129,317
負担金	136,000	0	136,000	0	0	0	0	0	0	136,000
受託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保全管理作業料	3,589,580	0	3,589,580	0	0	0	0	0	0	3,589,580
畦畔草刈作業料	290,240	0	290,240	0	0	0	0	0	0	290,240
農業用機械貸出料	35,300	0	35,300	0	0	0	0	0	0	35,300
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,150,000)	(0)	(0)	(1,150,000)
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	950,000	0	0	950,000
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	(5,996)	(0)	(5,996)	(0)	(0)	(0)	(6,968)	(0)	(0)	(12,964)
受取利息	226	0	226	0	0	0	6,968	0	0	7,194
雑収益	5,770	0	5,770	0	0	0	0	0	0	5,770
経常収益計	25,379,828	0	25,379,828	0	0	0	1,165,368	0	0	26,545,196
(2) 経常費用										
事業費	(25,465,224)	(0)	(25,465,224)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(25,465,224)
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	3,000	0	3,000	0	0	0	0	0	0	3,000
福利厚生費	7,790	0	7,790	0	0	0	0	0	0	7,790
会議費	58,476	0	58,476	0	0	0	0	0	0	58,476
旅費交通費	278,950	0	278,950	0	0	0	0	0	0	278,950
通信運搬費	74,436	0	74,436	0	0	0	0	0	0	74,436
減価償却費	994,603	0	994,603	0	0	0	0	0	0	994,603
消耗品費	1,055,400	0	1,055,400	0	0	0	0	0	0	1,055,400
修繕費	320,257	0	320,257	0	0	0	0	0	0	320,257
燃料費	366,493	0	366,493	0	0	0	0	0	0	366,493
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保険料	144,115	0	144,115	0	0	0	0	0	0	144,115
諸謝金	126,000	0	126,000	0	0	0	0	0	0	126,000
租税公課	127,700	0	127,700	0	0	0	0	0	0	127,700
利用料	950,204	0	950,204	0	0	0	0	0	0	950,204
用地賃借料	129,317	0	129,317	0	0	0	0	0	0	129,317
支払手数料	27,813	0	27,813	0	0	0	0	0	0	27,813
委託費	20,734,525	0	20,734,525	0	0	0	0	0	0	20,734,525
雑費	66,145	0	66,145	0	0	0	0	0	0	66,145
管理費	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(453,044)	(0)	(0)	(453,044)
役員報酬	0	0	0	0	0	0	43,281	0	0	43,281
会議費	0	0	0	0	0	0	14,720	0	0	14,720
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書(内訳表)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	その他	内部取引消去	合 計
	農地の荒廃防止及び有効利用並びに 農業の担い手確保・育成・発展を図る事業	共 通	公益目的事業 小計	収 益 事 業	収 益 共 通	収益事業小計		全 共 通		
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	67,301	0	0	67,301
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	19,800	0	0	19,800
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	11,800	0	0	11,800
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	0	0	0	0	0	0	296,142	0	0	296,142
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	25,465,224	0	25,465,224	0	0	0	453,044	0	0	25,918,268
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 85,396	0	△ 85,396	0	0	0	712,324	0	0	626,928
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0			0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0			0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 85,396	0	△ 85,396	0	0	0	712,324	0	0	626,928
2. 経常外増減の部										
(1)経常外収益										
固定資産売却益	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
車輛運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林業用資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用										
固定資産売却損	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
車輛運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林業用資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産除却損	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
車輛運搬具除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農林業用資産除却損	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
経常外費用計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
当期経常外増減額	△ 1	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1
当期一般正味財産増減額	△ 85,397	0	△ 85,397	0	0	0	712,324	0	0	626,927
一般正味財産期首残高	7,499,527	0	7,499,527	0	0	0	9,437,554	37,429,295	0	54,366,376
一般正味財産期末残高	7,414,130	0	7,414,130	0	0	0	10,149,878	37,429,295	0	54,993,303
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	7,414,130	0	7,414,130	0	0	0	10,149,878	37,429,295	0	54,993,303

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金			(0) 0
普通預金	JA香川県善通寺支店	運営資金として公益目的事業に使用	(8,681,286) 8,681,286
未収金	JA香川県善通寺支店	基本財産の利息	(893,104) 8,400
	(株)まんでがん他	ダイシモチ麦販売料	884,704
前払費用		新規就農生 賃借料	(244,140) 244,140
仮払金			(0)
流動資産合計			9,818,530
(固定資産)			
基本財産			(30,000,000) 30,000,000
定期預金	JA香川県善通寺支店	公益目的事業に必要な業務の用に供する財産	
特定資産	特定資産合計		(12,800,000)
	車両運搬具購入引当資産	JA香川県善通寺支店 車両運搬具購入の為に積立てた資産であり、資産取得資金として管理されている資金	2,300,000
	農機購入引当資産	JA香川県善通寺支店 農機購入の為に積立てた資産であり、資産取得資金として管理されている資金	10,500,000
その他固定資産	その他の固定資産合計		(2,374,773)
	車両運搬具	軽トラック(2台) 公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用	2,148,735
	車両運搬具減価償却累計額		△1,743,997
	農林業用資産	トラクター 公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用	4,126,792
		トラクター	"
		フレールモータ	"
			3,605,800
			550,000

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
		一輪管理機	"	256,000
		保管庫	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用	366,190
	農林業用資産 減価償却累計額			△6,934,747
		公益会計ソフト	法人運営で使用	756,000
	ソフトウェア ソフトウェア 減価償却累計額			△756,000
固定資産合計				45,174,773
資産の部合計				54,993,303
(流動負債)				
	未払金			(0)
	預り金			(0)
	未払法人税等			(0)
流動負債合計				0
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債の部合計				0
正味財産				54,993,303

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法で行っている。

(4) 引当金の計上基準

特定資産取扱規程の基準による。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

平成 24 年度から内閣府公益認定等委員会の定める「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日、平成 21 年 10 月 16 日、令和 2 年 5 月 5 日改正）を採用している。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
車輛運搬具購入引当資産	1,800,000	500,000	0	2,300,000
農機購入引当資産	9,500,000	1,000,000	0	10,500,000
小 計	11,300,000	1,500,000	0	12,800,000
合 計	41,300,000	1,500,000	0	42,800,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	30,000,000	0
小 計	30,000,000	0	30,000,000	0
特定資産				
車輛運搬具購入引当資産	2,300,000	0	2,300,000	0
農機購入引当資産	10,500,000	0	10,500,000	0
小 計	12,800,000	0	12,800,000	0
合 計	42,800,000	0	42,800,000	0

6. 担保に供している資産

なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛運搬具			
軽トラック	934,525	934,524	1
軽トラック	1,214,210	809,473	404,737
農林業用資産			
トラクター	4,126,792	4,126,791	1
トラクター	3,605,800	2,017,531	1,588,269
フレールモア	550,000	307,736	242,264
一輪管理機	256,000	255,999	1
保管庫	366,190	226,690	139,500
ソフトウェア	756,000	756,000	0
合 計	11,809,517	9,434,744	2,374,773

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未 収 金	893, 104	—	893, 104
前払費用	244, 140		244, 140
合 計	1, 137, 244	—	1, 137, 244

9. 保証債務等の偶発債務

なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補 助 金						
農地管理公社運営事業費補助金	善通寺市	0	950, 000	950, 000	0	一般正味財産
農地管理公社運営事業費補助金	JA 香川県	0	200, 000	200, 000	0	一般正味財産
合 計		0	1, 150, 000	1, 150, 000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

なし

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

なし

14. 関連当事者との取引の内容

なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

なし

16. 重要な後発事象

なし

17. その他

なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
	基本財産計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産	車輛運搬具購入 引当資産	1,800,000	500,000	0	2,300,000
	農機購入引当資 産	9,500,000	1,000,000	0	10,500,000
	特定資産計	41,300,000	1,500,000	0	42,800,000

2. 引当金の明細

なし

監査報告書

令和7年4月16日

公益財団法人善通寺市農地管理公社
理事長 辻村 修 様

公益財団法人善通寺市農地管理公社

監事 高山由吏 

監事 蓮本尚子 

私たち監事は、公益財団法人善通寺市農地管理公社定款第23条第1項の規定に基づき、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の業務監査及び会計監査を実施いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1. 監査実施日 令和7年4月16日

2. 監査方法の概要

- (1) 業務監査については、理事会等に出席し職務の執行状況の報告を受けるとともに、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧等必要と認められる監査手続きを用いて財務諸表及び附属明細書の適正性を検討しました。

3. 監査結果

(1) 業務監査

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 会計監査

計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録は、公社の収支及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。